

# 議員全員協議会

日 時	令和 8 年 1 月 19 日 (月) 閉会中	9時22分 開会 10時20分 閉会
場 所	相良庁舎 4 階 大会議室	
出席議員	議長 16 番 原口康之 副議長 15 番 谷口恵世	
	1 番 中山尚大	2 番 篠崎朗子 3 番 荻田信行
	4 番 畑 政之	5 番 出縄耀戸 6 番 菅沼保弘
	7 番 鈴木長馬	8 番 石山和生 9 番 絹村智昭
	10 番 名波和昌	11 番 加藤 彰 12 番 木村正利
	13 番 松下定弘	14 番 濱崎一輝
欠席議員		
事 務 局	局長 前田明人 次長 浅井大典 総括主幹 原口 亨 書記 増田 奈菜子 書記 中田 綾	
説 明 員	市長、副市長、教育長、建設理事、総務部長、企画政策部長、 政策監、危機管理監、産業経済部長、教育文化部長、 危機管理課長、企画政策課長、商工企業課長	
傍 聴		

署名 議長

---

開会の宣告

○議長（原口康之君）

少し時間前ですが、お集まりのようですので議員全員協議会を開会いたします。

---

2 市長報告

○議長（原口康之君）

市長報告からお願いいたします。

杉本市長。

○市長（杉本基久雄君）

おはようございます。

それでは、私のほうからは報告案件6件ほどございますので報告をさせていただきます。

まず1点目でございます。牧之原市制施行20周年の集大成となる式典を1月12日、月曜日に、い〜らで開催いたしました。

式典には、静岡県塚本副知事をはじめとする約350人の来賓の皆さんをお招きし、盛大に開催することができました。市議会議員の皆様にもご臨席を賜りまして、ありがとうございました。

第1部では、牧之原市誕生以来、長きにわたりまして市政に多大な貢献をいただきました皆様のご功績をたたえ、市民を代表して私から特別感謝状をお送りさせていただきました。

第2部では、田沼意次侯とその政敵とされる白河藩主、松平定信侯を話題として、歴史通タレントの松村邦洋さんと堀口茉純さんによるトークショーを開催いたしました。公募の市民など約190人が第2部から新たに参加をいたしまして、松村さんのものまねを交えたトークで大いに盛り上がり、大河ドラマを活用した取組の集大成となるイベントとして式典を締めくくることができました。また、松平定信の福島県白河市、蔦屋重三郎の東京都台東区、喜多川歌麿の栃木県栃木市とは、大河ドラマを契機に新たな交流が生まれまので、これをレガシーとして観光、文化などの交流促進につなげてまいります。

新市の誕生から、これまでの20年間で様々な取組を進めてまいりましたが、表彰させていただいた方々はもちろんのこと、多くの皆さんの力に支えられて、今の牧之原市があることを改めて強く感じました。

今後につきましても、市民、企業、団体の皆さんと力を合わせて、私たちが愛するこのまちが持続可能で市民が希望を持って暮らせるよう、全力で取り組んでまいります。

次に、台風15号の被害に関する市の対応状況等についてであります。

昨年12月15日に「牧之原市ささえあいセンター」を開設し、被災者の孤立防止のための見守り支援や日常生活の相談を行った上で、被災者を関係機関へつなぐ等の支援を実施しています。1月16日時点で、被災者への訪問81件、センターでの相談受付4件、電話相談4件であり、被災された皆様が自宅の修繕に多額の費用がかかってしまうや、みなし仮設住宅から医療機関を受診するための移動手段を確保したいなどといった不安や困り事等を

抱えながら生活されていることを再確認いたしました。

今後も、これまで以上に関係機関が連携し、被災者が一日でも早く安心した生活を取り戻せるよう、寄り添ってまいります。

12月23日からは、竜巻等により損壊した家屋等につきまして、生活環境保全上の支障の除去及び二次被害の防止を図るため、解体及び撤去を支援する公費解体・費用償還の申請受付を開始いたしました。被害認定調査において半壊以上の判定を受けた住宅が対象であり、担当課の職員と専門のコンサルタントの合計3人を1チームとし、2チームで、1日各4件、合計8件の申請を受け付けておりましたが、1月15日からはチームを一つ増やすことで、1日12件に受付枠を拡大し、相談体制の強化を図っております。

申請受付は毎週火曜日と木曜日に実施しており、1月中の実施見込みは、1月16日現在で、公費解体29件、費用償還13件の申請受付と相談13件となっております。受付枠にはまだまだ余裕があり、窓口では申請だけでなく、相談のみも受け付けておりますので、市民の皆様には、この機会を活用していただきたいと考えております。

このほかにも、先月説明させていただいた国の被災者生活再建支援制度の対象とならない半壊及び準半壊の被害を受けた世帯に対する市独自の被災者生活再建支援金の受付を1月13日から開始しております。

被災者に寄り添う、きめ細やかな支援を進め、被災者が一日も早く、もとの安心した生活が送れるように、全力で取り組んでまいります。

続きまして、浜岡原子力発電所の新規制基準適合性審査における不適切事案についてであります。

浜岡原子力発電所3号機・4号機に係る原子力規制委員会による新規制基準適合性審査において、地震動評価における代表波選定が、審査会合での中部電力株式会社による説明内容と異なる方法や、意図的な方法で実施されていた疑いがあることが確認されました。当時の審査会合での説明では、基準地震動の策定における地震動の評価について、計算条件の異なる20組の地震動を計算し、それらの平均に最も近い波を代表波として選定する方法を用いる旨を説明していましたが、実際は、意図的に平均に最も近い波ではないものを代表波として選定していたということでした。

今後、同社から独立した外部専門家のみで構成される第三者委員会が設置され、本事案に係る事実関係の調査・認定、それに基づく評価・原因分析、再発防止策の提言を行うとのことであります。

今回の状況につきまして、事前に中部電力から十分な説明を受けていませんでしたが、1月14日に同社の豊田本部長が、翌日の1月15日には林社長が来庁され、状況説明と謝罪をいただいております。

私からは、今回の事案は今まで構築してきた信頼関係を壊すゆゆしき事態であり、重要な基準地震動を操作していたとのことで、弁明の余地がなく、第三者委員会による早期の原因究明を求める。原子炉が止まっていたとしても、施設や使用済み核燃料がある以上、安全・安心をしっかりと担保し、これまで以上の対応をしてほしい。また、今回の事案が発生したにもかかわらず、市から要請がなければ説明の場もなく、そういった対応にも不安を感じるため、誠意をもった対応をお願いいたしました。同社に強く求めたところであります。

今回の不適切事案は、地域との信頼関係を失墜させる重大な事案と受け止めておりますので、浜岡原子力発電所安全等対策協議会、4市対協にて、中部電力に対して別紙申入れ書を提出しております。

また、国が安全性の確認、中部電力への指導強化、安全対策の継続等について、しっかりと管理監督するよう、今年21日に、経済産業省、内閣府、原子力規制庁に対して、4市対協にて要請を行う予定であります。

次に、吉田町牧之原市広域施設組合同規約の変更についてであります。

静岡地域広域消防の円滑な運営を確保することを目的として、静岡地域広域消防運営計画が改定され、令和8年4月1日より、細江地内に牧之原消防署榛原出張所が開設されることは、先月の全員協議会で報告をしたとおりであります。

これに伴いまして、現在、吉田消防署として消防業務を行っている旧吉田榛原消防庁舎につきましても、令和8年4月以降、吉田町牧之原市広域施設組合として維持管理する必要がなくなります。このため、旧吉田榛原消防署の土地及び建物の財産処分に向けて、吉田町牧之原市広域施設組合の規約の変更を行う必要があり、2月定例会において、議案として上程する予定でございます。

その内容について、担当から説明をさせていただきます。

#### ○議長（原口康之君）

危機管理課長。

#### ○危機管理課長（吉添 所君）

それでは、変更の内容につきまして、ご説明させていただきます。

現在、吉田町牧之原市広域施設組合で共同処理している事務は、し尿処理、ゴミ処理、火葬場、学校給食、今回ご説明させていただく旧吉田榛原消防署庁舎の維持管理に関する事務があります。現在、吉田町牧之原市広域施設組合において維持管理しております旧吉田榛原消防署の土地・建物の取扱い等につきまして、吉田町と協議を行ってまいりました。その中で、財産処分の内容や事務手続等について損が生じないように、吉田町牧之原市広域施設組合同規約の変更に伴う協議書（案）という形で作成することといたしました。

それでは、財産処分の内容についてご説明をいたしますので、資料2をご覧ください。

資料2の上から二つ目の①令和8年2月議会で変更予定の欄をご覧ください。

現在、吉田町牧之原市広域施設組合同規約に規定のある旧吉田榛原消防署庁舎の維持管理に関する事務に「清算に関する事務を含む」を追加し変更いたします。この内容につきましては、資料3をご覧ください。

資料3の2、協議書（案）の内容に記載しております。ここに記載の内容につきましては、資料4として添付しました吉田町牧之原市広域施設組合同規約の変更に伴う協議書（案）の概要となります。

資料3の2、協議書（案）の内容欄をご覧ください。

①土地の面積は、土地の面積が5,572.16平方メートルです。

②の建物は消防庁舎や訓練塔など、合計の延べ床面積は1,970.58平方メートルです。この土地・建物の牧之原市の持分は2分の1となります。牧之原市持分の2分の1を有償で吉田町に譲渡いたします。土地・建物の価格は令和8年4月1日を基準日とした不動産鑑定により算出いたします。なお、不動産鑑定の経費は、吉田町牧之原市広域施設組合に規

定されている消防費に係る基準財政需要額割により、吉田町、牧之原市が負担いたします。

③解体費につきましては、吉田町が吉田消防署としての使用を終了後、速やかに取り壊すものであり、解体費の算出につきましては、令和8年4月1日現在を基準日として算出し、土地・建物の不動産鑑定費用と同様の割合で解体費を負担いたします。なお、消防車両につきましては静岡市へ既に無償譲与しておりますので、今回の清算には含まれません。

④の清算金の算定につきましては、吉田町から牧之原市に支払われる土地・建物代金と、牧之原市から吉田町に支払う解体費を差し引くこととし、記載の計算式により算出いたします。

⑤の債務につきましては、これまで消防庁舎の維持管理に必要なものの財源として借入れを行ったものであり、これまでどおりの負担割合で負担してまいります。令和7年度末で両市町合わせ6,006万円、令和20年度までに償還の予定となっております。

それでは資料2にお戻りください。

資料2の中段の②清算に関する事務手続が令和8年度中に終了いたしましたら、③令和8年度中に変更等予定の組合の共同処理する事務を「旧吉田榛原消防署庁舎に係る起債の償還に関する事務」に変更していくことを令和8年度中に行う予定でございます。

この改正と同時期に、④令和8年度中に議案の提出、旧吉田榛原消防署庁舎の土地及び建物の財産処分に関する議決を経て、旧吉田榛原消防署庁舎の土地及び建物が吉田町に帰属する形となります。

②から④の手続は来年度に行うものとなります。

⑤の起債の償還が終了しましたら、旧吉田榛原消防署庁舎に関する事項は規約から削除していきます。なお、令和8年度以降の消防署庁舎に係る経費全ては吉田町が負担していくこととなります。

これらの内容を、吉田町牧之原市広域施設組合格約の変更に伴う協議書（案）に定めております。

なお、吉田町牧之原市広域施設組合格約の変更に伴う協議書（案）につきましては、現在吉田町と詰めの作業を行っておりますので、字句等の変更がありますことを申し添えます。今回の案件につきましては、吉田町も同様の資料で議員の皆さんに本日説明予定となっております。

説明は以上となります。

## ○市長（杉本基久雄君）

それでは、引き続きまして私のほうから、物価高騰に係る生活者、事業者支援（重点支援地方交付金）につきまして、報告をさせていただきます。

国の令和7年度補正予算で計上されました物価高騰交付金が、当市に対しては約4億5,000万円が交付されます。交付の内訳については以下の表のとおりであります。

当市では令和6年度から当市独自のデジタルポイント「まきペイ」を導入しており、市内の登録店舗でまきペイを使った買物に対するポイント還元や子育て世帯向けのポイント交付などを通じて、物価高騰に係る生活支援と地域事業者支援を両立してきました。

今回の物価高騰対策においてもまきペイを活用し、市内の対象店舗で買物ができるデジタルポイントと紙の商品券を組み合わせた仕組みで市民の皆さんに配布することを、目玉事業として考えております。

ポイントの配布方法といたしましては、QRコード付きのカードを各家庭に郵送し、スマートフォンなどで読み込んでデジタルポイントにすることも、紙の商品券として使用することもできるようにし、市民の皆さんが誰でも利用できるよう配慮してまいります。

交付するポイントにつきましては、市民1人当たり6,000円分で、高校生以下の子供にはさらに1万円分を追加交付していきたいと考えております。

予算額としては、食料品の物価高騰対応分に、そのほかの推奨事業メニューから1.8億円を加えた、総額3.3億円を見込んでいます。推奨事業メニューの残り1.2億円につきましては、市内への誘客促進や産業支援、関連事業への充当などを検討してまいります。

なお、予算につきましては2月定例会に上程し、市議会に対して詳しく説明してまいります。

続きまして、株式会社マキノハラボの総務省ふるさとづくり大賞の受賞についてであります。

総務省が全国各地でふるさとをよくしようと頑張る団体、個人を表彰するふるさとづくり大賞に、旧片浜小学校を活用して様々な地域づくり事業を実施する株式会社マキノハラボを本市から推薦し、優秀賞（総務大臣賞）を受賞することが決まりました。

株式会社マキノハラボは、平成29年に旧片浜小学校の利活用を行うことを目的に設立された法人で、現在は、運営開始から9年がたち、年間利用者4万人、宿泊者6,500人を呼び込み、民間の運営ノウハウを活かした施設の自立運営を実施するとともに、本市に新たな人の流れを創出しております。また、海外での活動経験や多言語にたけた人材が多く在籍しており、本市の多文化共生やプログラミング教育、移住・定住など様々な施策との連携による相乗効果を発揮されています。

今回受賞する優秀賞（総務大臣賞）は、最優秀賞（内閣総理大臣賞）に次ぐもので、応募した中から3団体のみが選ばれるものであります。

地域に根差した取組の積み重ねと地域経済やコミュニティへの効果などが評価され、今回の受賞に至ったものと捉えております。

2月10日に東京都内で表彰式が行われ、最優秀賞と優秀賞の4団体については事例発表も行うことになっており、同社の浅野代表取締役が出席いただけることとなっております。

市といたしましても、引き続き同社と連携して、様々な地域課題の解決や交流人口、定住人口の創出などに取り組んでまいります。

私のほうからの説明、報告は以上であります。

#### ○議長（原口康之君）

市長報告は終わりました。ただいまの市長報告に対しての質疑、質問等をお願いします。  
中山議員。

#### ○1番（中山尚大君）

物価高騰に対する交付金ということで6,000円で、高校生以下の子供がある家庭に1万円というふうに給付されるということなんですけど、他市町では、これと関連しておこめ券を配布していらっしゃる場所もあると思うんですけど、牧之原市はされないという判断をされたと伺っているんですけど、そこは具体的になぜされなかったかというのは説明は伺えますでしょうか。

#### ○議長（原口康之君）

企画政策課長。

**○企画政策課長（本間直樹君）**

この物価高騰の交付金の予算が国で議論されているときに、おこめ券をはじめ、いろいろな議論がされていたと思うんですが、まずは今回まきペイという方法を選択させていただいたのは、まず一つ、おこめ券に限らず市民の皆さんが使える仕組みにしていくと、幅広く使える仕組みにしていくということと、地域内にお金が市内で循環するために地域の店舗で活用できる仕組みにしたいということ。さらには、まきペイをここ数年導入してきて、やっぱりデジタルポイントでのということ数年進めてきたので、この流れを継承して、この仕組みを今後も続けていくということで、この仕組みを選ばさせていただきました。なので、おこめ券はやらないということです。

**○議長（原口康之君）**

中山議員。

**○1番（中山尚大君）**

そういった説明なのは、そういった説明ということで私は理解したんですけども、市民の方で、おこめ券を配布されないことで、なぜうちの市町はされないんだろうと、他の市町に比べて不平等感を感じていらっしゃる方とかもいらっしゃると思うんですけども、そういった事実説明とかというのは、こういった形で市民の方に周知させていくようなつもりなんでしょうか。

**○議長（原口康之君）**

企画政策課長。

**○企画政策課長（本間直樹君）**

まず、おこめ券を選択している自治体は非常に少ないと思いますので、おこめ券という手段が一番適切かということは各自治体判断をして選択されていないので、私どももおこめ券が適切な方法とは思っておりません。さらに、今回の仕組みは市民の皆さんにデジタルポイントでも紙でも使える仕組みですし、金額としても推奨メニューから上乘せさせていただいているので、市民の皆さんの物価高騰に十分対応できる仕組みとして検討させていただいたものだと思っております。

この内容については、また予算として、議案としてしっかり上げていく中で説明をさせていただこうと思っております。

以上です。

**○議長（原口康之君）**

中山議員。

**○1番（中山尚大君）**

おっしゃるとおり、おこめ券を配っていらっしゃる市町が少ないということは私も理解しておりますけれども、ニュースなどでいろいろと話題になっていたのも、配られるのかなというふうに認識していらっしゃる市民の方も多いと思いますので、そこら辺の説明はきちんとしていただきたいなとは思っております。

以上です。

**○議長（原口康之君）**

ほかは。

木村議員。

**○12番（木村正利君）**

全員協議会のほうでも竜巻被害に関する市の対応状況等説明いただきました。これには直接関連ないんですが、実は2日前に藤枝市のほうで山林火災がございました。ここも、現実、今火災が発生している状況の中で。

**○議長（原口康之君）**

木村議員、市長報告、その他のところでお願いします。

**○12番（木村正利君）**

その他。ごめんなさい。その他で。失礼。

**○議長（原口康之君）**

ほか、市長報告に対して。

名波議員。

**○10番（名波和昌君）**

1点お伺いします。先ほど、吉田榛原消防署の取扱いということでご報告いただいた中で、建物は令和8年4月1日時点での解体費を算出されると。その後、速やかに吉田町が解体するという報告だったんですが、解体費用とか常に高騰していく中で、算出時点と解体する間が結構空いてしまうと、費用に差が出てくるんじゃないかなという気がしているんですが、この点については何か対応を考えていらっしゃるのでしょうか。

**○議長（原口康之君）**

危機管理課長。

**○危機管理課長（吉添 所君）**

その辺も吉田町と協議して、令和8年4月1日時点で清算するというところで協議しておりますので、その後の対応は吉田町のほうにお任せするというような形になっております。

**○議長（原口康之君）**

名波議員。

**○10番（名波和昌君）**

ということは、その後、牧之原市に追加の負担はないという理解でよろしいですか。

**○議長（原口康之君）**

危機管理課長。

**○危機管理課長（吉添 所君）**

そのとおりです。

**○議長（原口康之君）**

そのほか。

副議長。

**○15番（谷口恵世君）**

また物価高騰のところでお伺いたいんですけれども。吉牧の広域施設組合で、給食費がまた上がるということで、吉田町と牧之原市で物価高騰対応の補正がついたときに、小学生の給食費に少し充てていただくような、そういうような話があったんですけれども、その辺りの、恐らくこの1.2億円についてというところで、いろんなことを検討されると思うんですけれども、もしその辺り何か情報がありましたら、お願いします。

**○議長（原口康之君）**

教育文化部長。

**○教育文化部長（竹内英人君）**

すみません、もう一度ご質問をお願いします。

**○議長（原口康之君）**

副議長。

**○15番（谷口恵世君）**

吉田町牧之原市広域施設組合のほうで、今度給食費のほうが上がるということで、ただその分、物価高騰対応で各市町で小学生に対してはそこに補填して、今後、給食費を無償化するというお話が少しあったので、その辺り、牧之原市としてはどのように考えているか伺いたいと思います。今回の物価高騰のこの1.2億円というところで検討事項の中にそのようなことが入っているかどうかを、もしお考えがあれば。

**○議長（原口康之君）**

教育文化部長。

**○教育文化部長（竹内英人君）**

すみません、今のご質問だと、吉牧の給食費のことをお答えすればいいですか。

**○議長（原口康之君）**

企画政策課長。

**○企画政策課長（本間直樹君）**

申し訳ありません。令和8年度分ではなく、8年度分ということでもいいですよ。小学生に関しては、もちろん無償化で国からお金が入ってくるということなので、そこに関しては少し単価を超えた分についてどうするかという議論は、今関係の県を含めてされているんですけども、中学生分に関しては、来年度も高騰分をこの1.2億円で見たいという考えを持っております。

ちなみに補足として、令和7年度分に関しても、吉牧のほうで小学生、中学生分で少し高騰分の予算が出てきましたが、これについては令和7年度の、これとは別に現在7年度予算に充当している交付金の執行の残等がありますので、そちらを充当するというところで考えております。

**○議長（原口康之君）**

中山議員。

**○1番（中山尚大君）**

原発の不適切事項についての確認なんですけれども、こちら今回、もちろんニュース報道であるように、ほぼ明らかに人的に意図的に行ってしまった不適切事案だと思うんですけども、そういったものだと、私は何かしら補償みたいなものを追求するのも真っ当なのかなというふうには考えてはおります。例えば牧之原市だと、原発の避難所とかの運営をされていらっしゃるしまして、今後も長期的にそういったものの運営費用というのはかかってくると思うんですけども、例えばそういったところの運営費用みたいなものを原発のほう、中部電力のほうに補償として請求するみたいな、そういったような考えとかというのはあるんでしょうか。

**○議長（原口康之君）**

危機管理課長。

**○危機管理課長（吉添 所君）**

すみません、避難所としての補償というものというのが、今現在特にもらっているものはございませんので、ご質問されている内容が、すみません、ちょっと理解できていない。どういった部分のことかというのを、もう少し細かく教えていただければと思います。

**○議長（原口康之君）**

中山議員。

**○1番（中山尚大君）**

例えばですけれども、そういった避難所とかの運営費用というものを牧之原市で負担している部分があると思うんですけれども、私の認識として。ちょっとごめんなさい、間違っていたら恐縮です。そういったところ、今後も、原発が停止することで、不必要に今後管理していくのかなと思ったんですけれども。

**○議長（原口康之君）**

危機管理課長。

**○危機管理課長（吉添 所君）**

原発に近い5キロ圏内のPAZ区域の中に6施設、放射線防護施設がございます。その維持管理に係る法定点検費用だとか、そういったものは全て10分の10で国が今見ている状況なので、市の負担が今ない状況なので、その部分に関して中部電力にちょっと負担を求めるということは今のところ考えてはいないです。国がもし、そこを負擔せよというようなことを中部電力に求めるのだったら、それは別なんですけれども、市としては、今、国から10分の10で手当を頂いていますので、そこに関してはないかなとは思っています。

**○議長（原口康之君）**

ほかは。

[「なし」と言う者あり]

**○議長（原口康之君）**

では、そのほかということで木村議員、お願いします。

**○12番（木村正利君）**

失礼しました。その他で先ほどのところで、3日前に山林火災が発生しまして、現実、山梨で発生しているものもかなり危機管理の中では鎮火に至っていないケースもございます。そうした中で、事例を見ますと、今回災害も含めまして、自衛隊派遣のところ、藤枝市に関しましてはいち早く山林火災について自衛隊派遣のところを要求されて、大井川から給水して、今まだ3日たっても消えていない状況ですが、危機管理のほうとして山林火災の発生するところの予備的なところの何か基準等はございますでしょうか。

**○議長（原口康之君）**

危機管理監。

**○危機管理監（森田克彦君）**

お答えさせていただきます。基本的に、先ほど議会のほうからの国に対する要望にも書いてありましたが、基本的に市町もしくは県が、お手上げですと、我々の対応を超えておりますといったものについては自衛隊を派遣するという事に決まっていますので、それに沿って対応はしていく予定であります。

**○議長（原口康之君）**

木村委員。

**○12番（木村正利君）**

確認ということで今お話をさせていただきました。現実論としては、状況を見ますと、消防を含めて、車が、山林火災の場合は入っていけない状況だということの中で、今回、給水、自衛隊によるところのというのはいち早く対処したというふうに伺っています。また、給水のところの箇所も、今後、山林火災が発生する状況も見込めるじゃないかなど。いろんなところで、またたき火等も、まだ今現在やっておられる方も結構いらっしゃいますので、今後、乾燥状態を含めて、そういった中の危機管理として、また市民周知等含めてお願いできればなと感じております。

確認できました。以上です。

**○議長（原口康之君）**

ほかは。

絹村委員。

**○9番（絹村智昭君）**

そのほかですみません。私のほうから、ちょっと一点、ミラノのコルティナパラリンピックに関する。

**○議長（原口康之君）**

その件は全体の。今ですか。

全体の質問ですか。当局に対してですか。

**○9番（絹村智昭君）**

当局に対してもちょっと。

**○議長（原口康之君）**

絹村議員。

**○9番（絹村智昭君）**

それこそ皆さんもご存じかと思いますが、牧之原市出身の坂下恵理選手が、今回、パラリンピック内定ということが決まりまして、ぜひ、これまでも動いているんですけど、パブリックビューイングなんかもスポーツ課のほうで準備しているという話を聞いているところなんですけど、また機運を高めていただきたいというそういうところで、広報などを使って機運を高めていって、オール牧之原市でやっていってほしいという思いがあるので、そういうところはいかがでしょうかということでございます。

**○議長（原口康之君）**

市長。

**○市長（杉本基久雄君）**

牧之原市始まって以来のパラリンピアン誕生ですので、市としても全面的にご支援させていただきたいと思っておりますし、周知をさせていただきたいというふうに思っております。

現在、榛原庁舎の懸垂幕、それから相良庁舎の横断幕を発注してございまして、これ決定したので、でき次第、掲載をさせていただく予定であります。それから、NHKで22日でしたか、特集があるようですので、それについても市民の皆さんに多く視聴していただ

きたいので、市の公式LINEで状況を周知させていただきたいと思ひますし、これからパブリックビューイングについても、しっかりと周知をさせていただきたいというふうに思ひております。

市を挙げて応援したいというふうに思ひていますので、市議会の皆様にも、ぜひとも応援いただひて盛り上げていただければと思ひます。ありがとうございます。

**○議長（原口康之君）**

絹村議員。

**○9番（絹村智昭君）**

ありがとうございます。本当に市の明るいニュースで本当に元気になる案件だと思ひますので、よろしくお願ひします。ありがとうございます。

**○議長（原口康之君）**

ほか、その他。

[「なし」と言う者あり]

**○議長（原口康之君）**

それでは、以上で市長報告を終わります。

---

**3 議長・関係議員・委員会報告（1） 会議等の結果**

**○議長（原口康之君）**

それでは3番として、議長・関係議員・委員会報告ということで、最初に私のほうから報告したいと思ひます。

12月17日、地域公共交通会議がございました。

12月19日、榛原総合病院組合臨時会がありました。議案については全て可決されております。

12月21日、ジャパンラグビーリーグワンホームゲームということで、私が参加してまいりました。

12月22日、この日より消防団の夜警巡視が行われております。

12月25日、吉田町牧之原市広域施設組合議会の臨時会があり、これについても全ての議案で可決されております。

1月1日に関しては、2026年RIDE ON MAKINOHARA 初詣祈願式ということで、皆さんにはご参加いただきました。

1月7日、静岡県西部地区市議会議長協議会に正副議長で参加しました。

1月8日、榛原総合病院組合議会の新任議員説明会がありました。

1月9日、県知事の新年の挨拶ということで、これも正副議長で対応いたしました。

1月11日はたちの集いと消防団出初め式に関しては、議員の皆さん、ご参加いただきましてありがとうございます。初顔合わせに関しては、私が対応いたしております。

1月12日の市制施行20周年記念式典については、皆さん参加のほうされております。友好都市交流のほうは正副議長で対応しました。

1月13日、全員協議会。

1月15日、議員研修、1月15、16日の2日間、議員研修を行いました。好評だったと思ひます。

同じく1月16日、商工会法施行65周年記念式典及び祝賀会。参加された議員はご苦労さまでした。

私からは以上です。

名波議員。

**○10番（名波和昌君）**

12月18日、御前崎市牧之原市学校組合例月現金出納検査が行われました。執行内容、現預金ともに問題なく終了しました。

以上です。

**○議長（原口康之君）**

濱崎議員。

**○14番（濱崎一輝君）**

私のほうからは監査委員の報告をさせていただきます。

12月22日に例月現金出納検査及び財政団体であります坂部財産区特別会計の監査を行いました。特に大きな問題点はございませんでした。

あと、ここには載っておりませんが、12月24日に義務教育学校の2校の建設事業に対して住民監査請求が出されました。これに関しては、事務局と市の顧問弁護士のほうが相談しております。内容について精査したところ、財政面についての問題点の指摘というよりは、事業そのものに対して問題を指摘しているということでもありますので、今回監査の対象にはならないのではないかとということで、本人のほうに却下または取下げというような話を進めているところでございます。

以上です。

**○議長（原口康之君）**

そのほか。

副議長。

**○15番（谷口恵世君）**

12月25日、吉田町牧之原市広域施設組合議会臨時会が開会されました。議長の選挙と議席の指定等、そのほか提出議案は3件ございまして、全て全員賛成で可決されました。なお、議長のほうは、私が推挙賜りまして議長となりました。

以上です。

**○議長（原口康之君）**

そのほかよろしいですか。

〔「なし」と言う者あり〕

---

**3 議長・関係議員・委員会報告（2） 議会運営委員会**

**○議長（原口康之君）**

それでは、委員長報告をお願いします。議会運営委員長からお願いします。

加藤委員長。

**○11番（加藤 彰君）**

議会運営委員会からです。

まず、1月6日の会議についてであります。

アの定例会の振り返りについて、何点かご報告させていただきたいと思います。まず一般質問の再質問に関して、答弁と再質問がよくかみ合っていないという、そういった事例がございました。再質問において、答弁と離れてしまうことのないようお願いをしたいと、そのように思います。また、一般質問でよく使われがちな言葉で、ありがとうございますや、よく分かりましたなど、不適切な表現があったという意見が出されました。こちらについては注意をお願いします。議員必携を再度ご覧いただきたいというふうに思います。

次に、補正予算連合審査会における質疑に関して、単に数字を聞いて終わりというものがあります。単に公表済の数字、既に説明のあった数字を確認するだけの窓口質問はやめていただきたいというふうに思います。

次に、質疑通告に関して、今回一つの議案、牧之原市副市長定数条例の一部を改正する条例に対して3名が通告していた件であります。この件に関して、2点意見が出されております。一つは、再質問の内容がかぶってしまっていた点、この点に関しては調整会議という会議がございますので、その会議で調整する必要があるというふうに意見がございました。そして二つ目、この条例に関して、当局からの説明に対して不明な点を明らかにすることにとどめるべきではないかの意見も出されました。

次に、委員会に付託された議案審議における議員間討議についてであります。この議員間討議によって、単なる賛否表明にとどまらず多様な視点から論点を深掘りし、よりよい結論へ導くことが重要であるとの意見が出されました。よって、こういった観点から、こういった面からの研修を行うことが必要ではという意見も出されております。

次に、議員全員協議会においてであります。不遜な態度と受け取られるような態度や、議長や他の議員に対して傲慢や非協力を示唆すると受け取られるような態度があったことについて、気をつけなくてはいけない旨の意見が出されております。全員協議会は議長が運営し、市政に関する重要事項を協議する場でございますので、本会議に準じた秩序の保持をお願いしたいというふうに思います。また、質問と質疑の違いについて、その理解を改めてお願いしたいというふうに思います。

次に、イの議会運営委員会視察研修についてであります。今週21日水曜日、長野県飯田市議会のほうへ予算決算の審査について学んでまいりたいというふうに考えております。

次に、ウの議員勉強会については、5のその他で事務局より説明をお願いします。

次に、1月13日、アの台風15号に伴う竜巻災害に関する意見書（案）についてありますが、既に終えていますので割愛をいたします。

次に、イの浜岡原子力発電所の不適切事案に係る中部電力からの説明については、明日20日11時から相良庁舎で開催予定であります。よろしく願いいたします。

次に、1月19日、アの1月臨時会提出議案については既に終えていますので割愛いたします。

以上でございます。

#### ○議長（原口康之君）

ただいまの報告ですけど、1月13日に台風15号に伴う竜巻災害に関する意見書を提出しておりますが、その回答が本日、市よりされておりますので、後でご確認をお願いいたします。

---

### 3 議長・関係議員・委員会報告 (3) 総務建設委員会

#### ○議長(原口康之君)

それでは総務建設委員会、名波委員長。

#### ○10番(名波和昌君)

総務建設委員会ですが、12月15日に付託議案審査と所管事務調査について協議を行いました。付託議案審査については全て可決ということで、既に本会議場で報告済でございます。

次に、1月13日に総務建設委員会を開催いたしまして、所管事務調査のテーマについて協議をいたしました。内容につきましては、明日19日に総務建設委員会で確定をしていくと、その予定しております。

以上です。

---

### 3 議長・関係議員・委員会報告 (4) 文教厚生委員会

#### ○議長(原口康之君)

次、文教厚生委員会、松下委員長。

#### ○13番(松下定弘君)

文教厚生委員会では、1月13日に所管事務調査による大きなテーマについての、事前に各議員より出していただいた案件についての確認を行いました。そして本日ですが、1月19日に、このテーマについての正副でまとめたものを皆さんに提示をして確認をしていきたいと思っています。その後についてのスケジュールであったりとか細かな内容についての確認を本日举行う予定でございます。

以上です。

---

### 3 議長・関係議員・委員会報告 (5) 議会広報特別委員会

#### ○議長(原口康之君)

次に、議会広報特別委員会、絹村委員長。

#### ○9番(絹村智昭君)

議会広報特別委員会です。12月19日、1月7日と広報委員会を開催いたしました。かけはし第81号について開催いたしました。一般質問の原稿を提出された皆様に関しては、ありがとうございました。現在、市民のための充実を図るためのアンケートを掲載していく予定でございます。また本日、委員会があります。よろしく申し上げます。

以上です。

---

### 3 議長・関係議員・委員会報告 (6) 議会改革特別委員会

#### ○議長(原口康之君)

次に、議会改革特別委員会、谷口委員長。

#### ○15番(谷口恵世君)

12月17日、議会改革特別委員会を開催いたしました。議会基本条例の検証について、各議員にチェック、または1期生については課題の洗い出しを提出していただいております。

ので、本日の委員会にて見ていただき、また進めていきたいと思っております。それから、議会改革特別委員会の今後の進め方について協議をいたしました。本日、議会改革特別委員会を開会いたしますので、よろしくお願いいたします。

以上です。

---

#### 4 協議事項 (1) 11月定例会議員発議について

##### ○議長（原口康之君）

それでは、次に協議事項ということで。

〔「なし」と言う者あり〕

---

#### 5 その他 (1) 議員勉強会について

##### ○議長（原口康之君）

特にないようでしたら、5番、その他ということで、事務局のほうから説明願います。次長。

##### ○事務局次長（浅井大典君）

5のその他の(1)として議員勉強会ということなんですけれども、以前にも説明させていただいたんですけれども、エネルギーに関する知見を深めるということで毎年実施しているものであります。今回、改選に伴いまして年度ぎりぎりということで、記載のとおり現在の予定ですけれども、日時は3月24日、火曜日、定例会の最終日の午後1時半から3時までの予定で予定をしております。

会場は、こちらの4階の大会議室。内容につきましては、エネルギーの基本計画関係ということで、詳細はまだ決まっておりませんので、これからまた先方と協議をしていきたいと思っております。

講師は、公益財団法人の地球環境産業技術研究機構のシステム研究グループリーダーの主席研究員の秋元圭吾さんを予定しております。

対象としては、全議員の皆様と、エネルギーの基本計画関係ということで当局の参加できる部課長職にも呼びかけたいと思っております。

また、当日はタブレットの持参をお願いしたいと思います。

説明は以上です。

##### ○議長（原口康之君）

皆さんのほうから。

濱崎議員。

##### ○14番（濱崎一輝君）

私のほうから1点。一部事務組合の配置の件について、意見を述べさせていただきたいと思っております。

一部事務組合に関しましては、これまで各議員が公平に2か所を受け持つという形でやってきております。しかしながら、現在の体制でいくと、一部の議員が複数のものを受け持っていて、特に1期生に関しては1か所しか受け持っていないという状況になっております。これは私が議員になった当初、先輩議員から言われているものになりますけれども、これはやはり公平に1人2か所ずつということで、特に1期生に関しては勉強の意味も兼

ねてということに聞いております。そういった中で、その点がまず1点。

それから、榛原総合病院に関して言いますと、地元の細江の議員が1人も入っていないということで、これも細江の議員がいない場合は、それに代わる議員が入るということもあるんですけども、今回に関して言いますと、1人の議員がもともといたというところで、その議員が入っていないというところがまずあります。

それから、あと監査委員の立場になりますけれども、私のことになりますけれども、監査委員に関しましても、牧之原市に関するものに関してということで、当然なれませんが、一部事務組合はそうではないものですから、これまでも監査委員の方が一部事務組合に配置をされております。ですので、今回はもう決まったものですから、どうしようということではないんですけども、今後、後半戦に入るに至っては、この点に関しては十分配慮して配置替え等していただきたいというところがございます。

特に火葬場に関して言うと、吉牧のほうで管理ということになっておりますけれども、これ、私の個人的な部分もありますけれども、地元の市民の方からも、ずっと火葬場のことに関わってきたのに、そういった議員がいなくなるということは非常に心配だという声も聞いておりますので、そういったことも考えていただいてということで、配置をお願いしたいというものでございます。

これに関しては、今どうのこうのということではありませんけれども、ぜひ皆さんもこのことを承知しておいていただいて、今後いろいろと改選等を行った際には、そういったことも考えながらの配置をお願いしたいというところがございます。これに関しては、議長、関係の委員長のほうから見解をお聞きいただければと思いますけれども、いかがでしょうか。

**○議長（原口康之君）**

今のご意見を配慮して、今後善処していきたいと考えております。

ほかは。

〔「なし」と言う者あり〕

**○議長（原口康之君）**

それでは、事務局のほうからは大丈夫ですか。

それでは、これで議員全員協議会を終了いたします。ご苦勞さまでした。

〔午前 10時20分 閉会〕